

・ **港湾整備** ・ ・ 北海道総合開発計画に基づき、時代の要請に応じた港湾整備を実施

第1期(S27～S37)・・・道産食料・石炭等の本州輸送への対応

第2期(S38～S45)・・・道外輸送の拠点である重要港湾の整備
開発港湾として苫小牧(西港区)の整備

第3期(S46～S52)・・・苫小牧東部基地開発、石狩湾岸流通拠点着手

第4期(S53～S62)・・・流通拠点としての港湾整備(苫小牧東港区、石狩湾新港)

第5期(S63～H9)・・・国際化の進展、物流構造の変化、要請の多様化に対応した港湾整備

第6期(H10～H19)・・・国際コンテナターミナル、多目的国際ターミナル、複合一貫輸送ターミナルの整備

苫小牧港西港区重点施策の変遷

第1期(S27～S37)



第2期(S38～S45)



第6期(H10～H19)



北海道産石炭積出岸壁



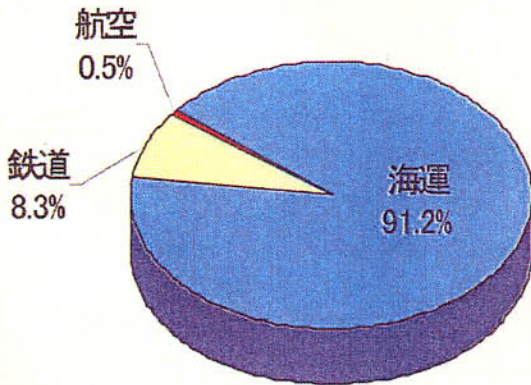
西港区臨海工業地域の形成



国際海上コンテナターミナル

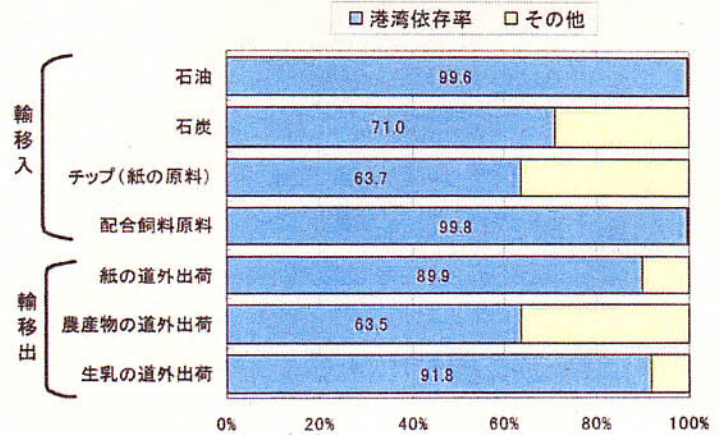
・ 北海道は道外との貨物輸送のほとんどを海運に依存。

北海道一本州間の貨物輸送機関別シェア



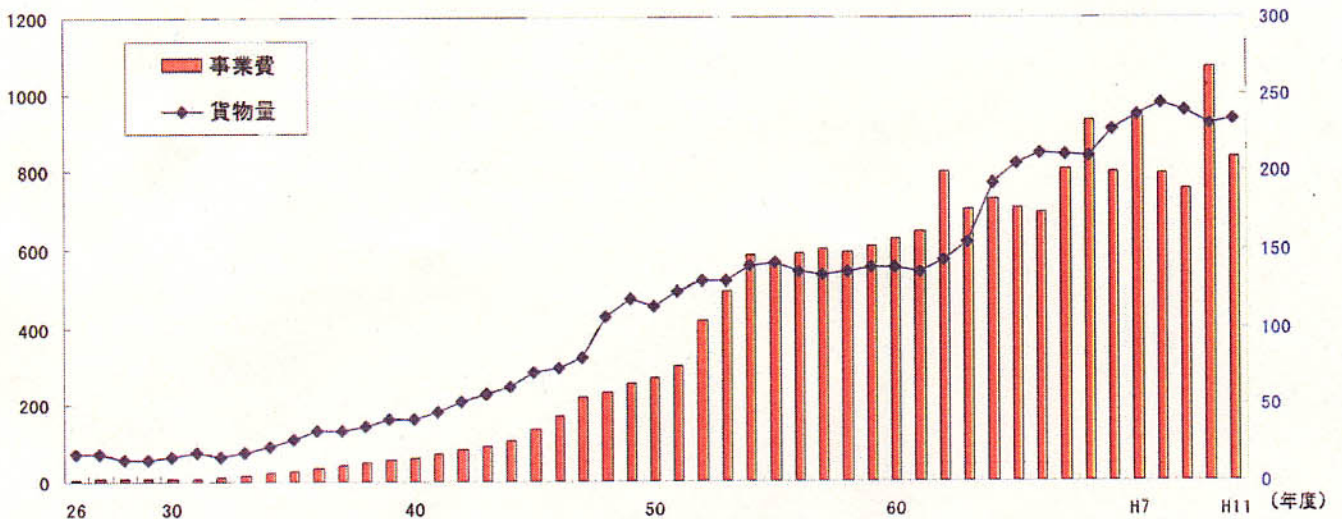
出典：運輸省政策局情報管理局
「貨物地域流動調査」
「航空輸送統計年報」

港湾物流に依存する北海道産業の原料調達と製品出荷



出典：北海道開発局 港湾空港部
港湾計画課調べ

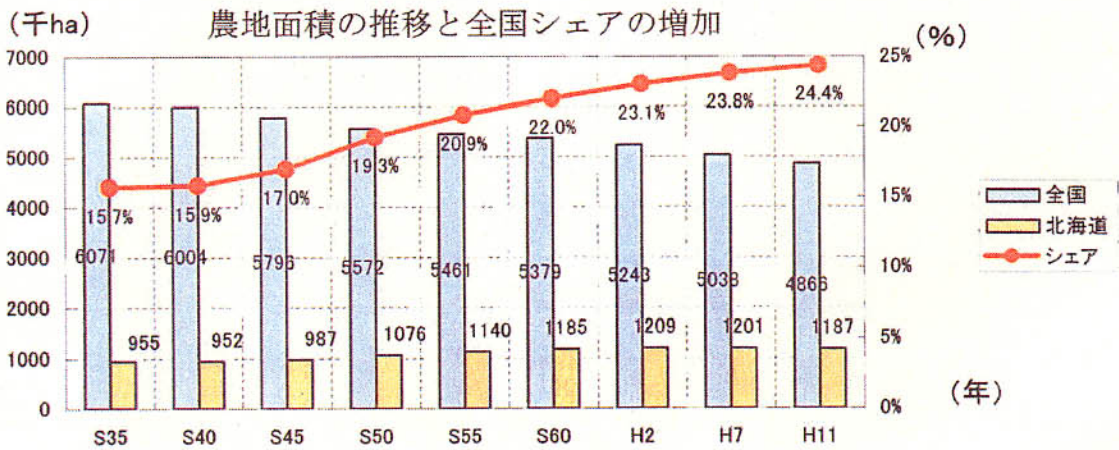
(億円) 北海道の港湾投資(事業費)と港湾取扱貨物量の推移 (百万トン)



出典：港湾統計、北海道局港政課調べ

・ 農業・農村整備・・・農地面積、経営規模、そして生産拡大に寄与

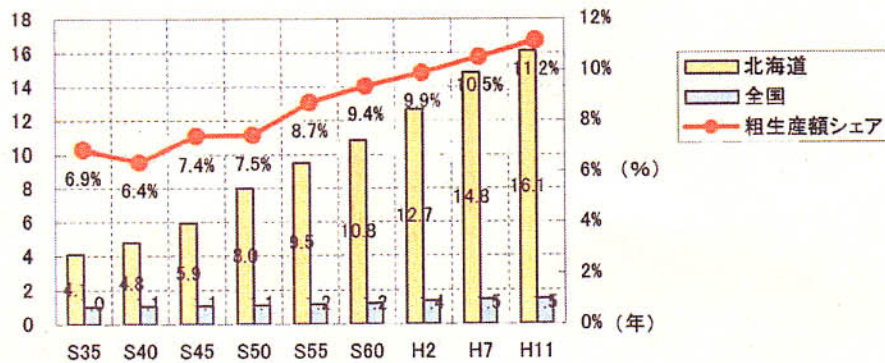
・ この40年間で、全国の農地面積が2割減少する中、農地開発事業等により、北海道の農地面積は全国の4分の1まで拡大。



出典：農林水産省統計情報部「耕地及び作付面積統計」

・ この結果戸当たり耕地面積は全国の10倍以上、生産額のシェアは年々拡大し、1割を超えた。

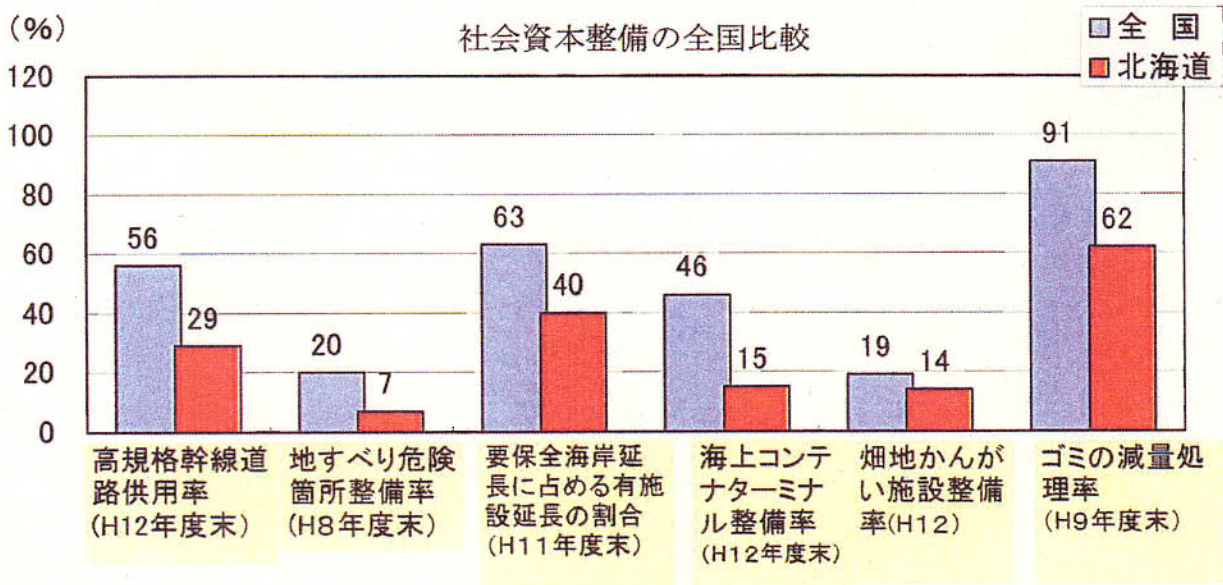
(ha) 農業粗生産額シェアと農家1戸当たり経営面積の推移



出典：農林水産省統計情報部「生産農業所得統計」「農業センサス」「耕地及び作付面積統計」

(3) 社会資本整備の全国比較

北海道の社会資本整備は着実に進められてきたが、全国と比較すると、未だ遅れている分野がある。



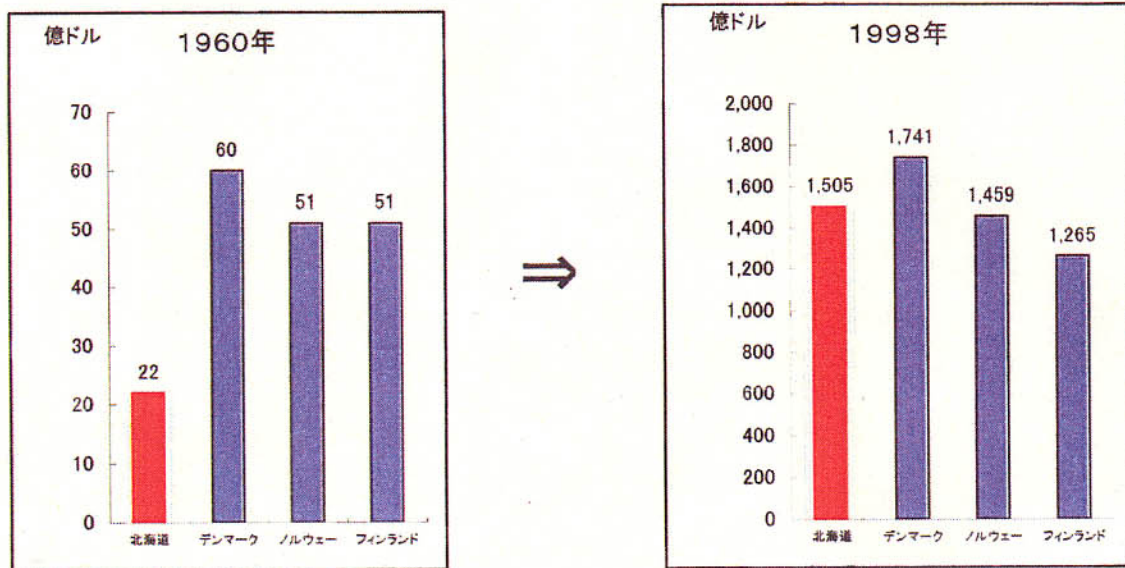
- 出典：高規格幹線道路供用率 国土交通省「道路統計年報」等
 ：地すべり危険箇所整備率 同「砂防便覧」等
 ：要保全海岸延長に占める有施設延長の割合 同「海岸統計」
 ：海上コンテナターミナル整備率 同「数字でみる港湾」等
 ：畑地かんがい施設整備率 農水省「土地利用基盤整備基本調査」
 「農用地建設業務統計」による推計
 ：ゴミの減量処理率「日本の廃棄物処理」

(4) 北海道経済・産業の状況

① 道内総生産の推移

北海道経済は、着実に成長し、経済規模は北欧諸国と肩を並べる水準に至ったが、全国に占める比率は低下している。

道内総生産の北欧諸国との比較

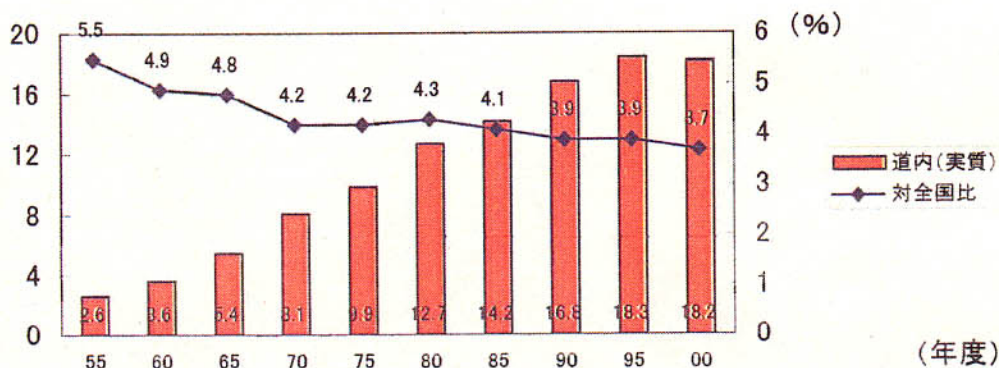


注：1960・1998ともに総生産は名目値

出典：北海道「道民経済計算年報」

：OECD 東京センター資料

(兆円) 道内総生産（実質）と全国に占める比率の推移

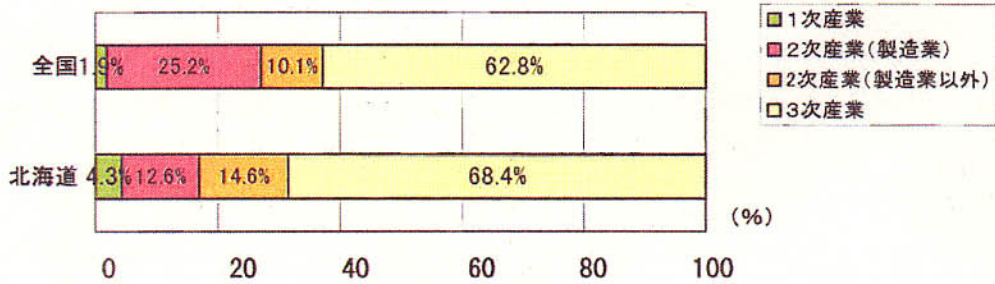


出典：北海道「道民経済計算年報」

② 北海道の産業構造と工業出荷額の推移

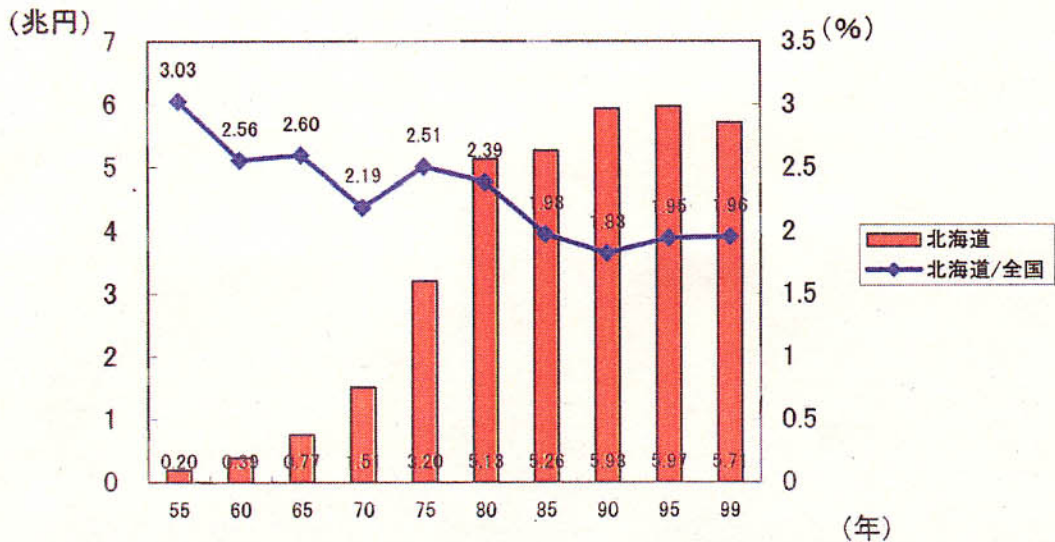
北海道の総生産に占める製造業の構成比は全国と比較して低く、また、工業出荷額の全国シェアは、1955年の約3%から、1985年に約2%に低下し、それ以降、横ばいである。

全国と比較した道内産業構造（98年度総生産）



出典：北海道「道民経済計算年報」

北海道における工業出荷額と全国に占める比率の推移



出典：経済産業省「工業統計表」

③ 最近の北海道経済の動向

北海道地域では、景気は大幅に悪化（2四半期連続で下方修正され、依然として全国で最悪の水準）。個人消費が弱含んでおり、雇用情勢は厳しい状況にある。

ア 地域経済動向（01.8.23内閣府）における北海道の経済動向に関する総括表現

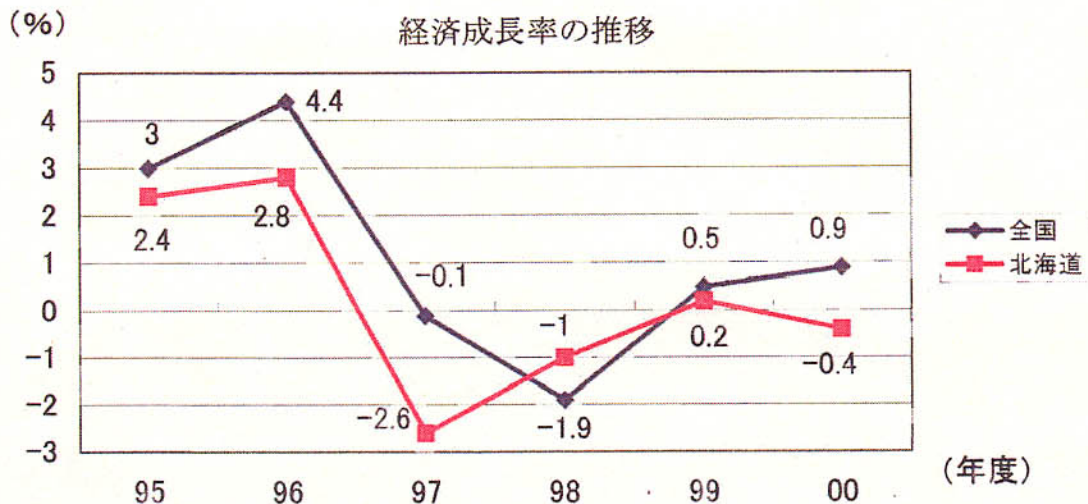
（前回調査との比較）

各地域の表現	北海道	東北	関東	東海	北陸	近畿	中国	四国	九州	沖縄
緩やかな改善が続いている										※ ↓
おおむね横ばい										○
足踏み状態にある				※						
弱含んでいる		※	※	↓	※	※	※		※	
弱まっている	※		↓	○	↓	↓	○	※	↓	
悪化している	↓	↓	○		○	○		↓	○	
大幅に悪化している	○	○						○		

（備考）○は今回（01.8.23）調査の判断、※は前回（01.5.24）調査の判断。

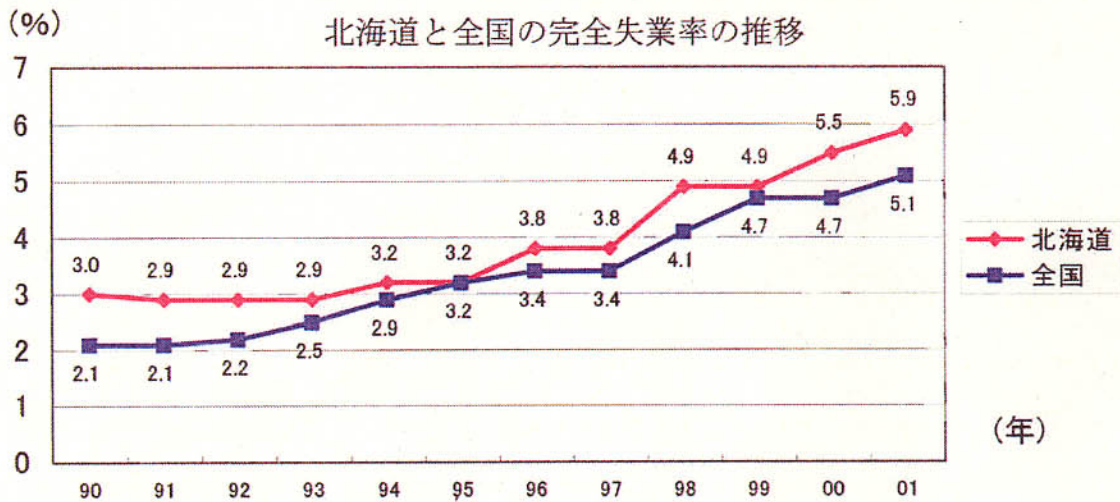
イ 経済成長率の推移

北海道拓殖銀行破綻（97.11）、有珠山噴火（00.3）の影響もあり、北海道経済は依然として低迷している。



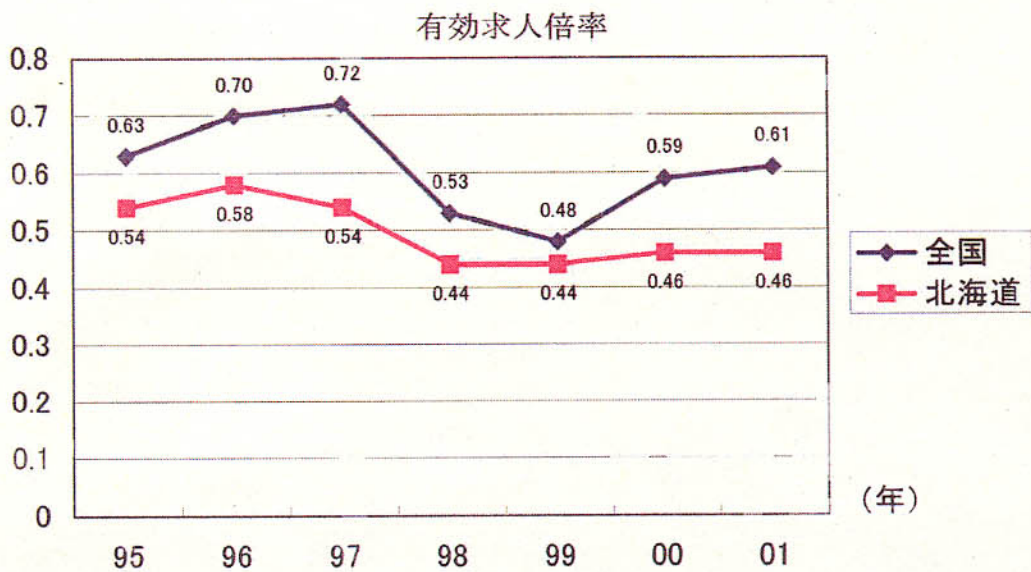
ウ 雇用の動向

失業率については、00年1-3月で過去最悪（6.5%）を記録し、その後も引き続き高水準で推移し、極めて厳しい状況。



注：01年については、4~6月の四半期データ
 出典：内閣府「地域経済動向」

北海道における有効求人倍率は、低迷が続き、全国との格差も拡大している。



注：01年については、4~6月の四半期データ
 出典：内閣府「地域経済動向」